

会 議 録

| | |
|--------|---|
| 会議の名称 | 第2回富士見市スポーツ推進審議会 |
| 開催日時 | 令和5年10月10日（火）19時00分～20時45分 |
| 開催場所 | 富士見市役所2階 市長公室 |
| 出席者 | 谷澤誠会長、奥山歩副会長、上杉健太委員、大畠仁委員、兼竹茂弘委員、家田友樹委員、矢野千春委員、平輝軌委員 事務局（文化・スポーツ振興課） |
| 欠席者 | 後藤輝明委員、徳田由美子委員 |
| 会議資料 | 資料1 多目的屋外スポーツ施設を整備する背景・目的・改題 |
| 公開・非公開 | 公開（傍聴人 0人） |
| 会議録確認 | 谷澤会長 |

<第2回富士見市スポーツ推進審議会>

1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1) 多目的屋外スポーツ施設を整備する背景・目的・課題について

【株式会社長大より資料1に基づき説明】

- ・富士見市のスポーツに関する現状について
- ・市内・市外の屋外スポーツ施設の状況について
- ・屋外スポーツ施設の課題について
- ・対象敷地の概況について

【質疑・意見】

会 長：質問意見はあるか。

委 員：市民アンケートに回答した層は分かっているのか。

委託業者：16歳以上の市民である。

委 員：「現在行っているスポーツ」と「市内に欲しいスポーツ施設」の結果が結びついていればいい。

アーバンスポーツをやりたいがやるところがない、という意見も聞いたことがある。

委 員：流行のスポーツ自体が変化している中で多岐にわたるスポーツを検討するべきである。

委 員：集客が出来るような施設や他市から集まるような施設があると良い。

委 員：他市にない施設があると集客もできるのではないかと思う。

委 員：昔の60～70代に比べれば、今の60～70代はアクティブに活動されている

ので、この年齢層の方々に日常的に使用してもらえるとよいかと思います。

委員：高齢の方はパワーアップ体操を楽しみにしている方が多い。高齢の方が月1回、週1回でも施設に行き楽しめる場所があると、高齢者の方にも喜ばれるのかなと思う。

委員：テニスコートが少ない、バスケットボールやスケートボードが出来る場所があると良いという意見が富士見市スポーツ推進委員からも上がっている。

(2) 多目的屋外スポーツ施設の方向性・導入機能について

【事務局より資料1に基づき説明】

- ・方向性について
- ・必要な機能について
- ・付加機能について

【質疑・意見】

委員：富士見市テニス協会からテニスコートが少ないという意見は聞いている。様々なニーズに対応できる施設がいいと思う。他市には無いものを富士見市で作る考えも一つなのかなと思う。

委員：ターゲットを決め打ちするのは難しいと思う。基本的には人口動態やスポーツニーズも変化する中でどれだけ自由度を持たせるかが多目的にもつながると思う。

事務局：テニスの収益率・稼働率は高いため幅広い利用が見込めるが、一方でフットサルの平日昼間は稼働率が低いと聞いている。建設や維持管理に費用がかかるため一定程度収益が得られる施設でないと市民の負担となる。

委員：ふじみ野市のテニスコートの利用状況を見ると、屋根付きで雨風が防げるとある程度の利用が見込めるのではないかと。ふじみ野市の施設と近いため利用者の奪い合いのようになる可能性もある。

委員：高齢者は猛暑日でもテニスを行っているのか。

委員：少し利用者は減るが、やる人はやっている。

委員：フットサルは日中の稼働率が低いのであれば、日中は高齢者の方に利用してもらえそうな多目的な施設として、稼働率が上がるように時間帯別で考えるのも良いのではないかと。

委員：ターゲットを絞るのは難しい。

事務局：公共施設であるためどうしても幅広い世代、多くの市民に利用していただける施設を整備するという考えになる。アーバンスポーツ一色にするのは、インパクトはもちろんあると思うが難しいのではないかと。

委員：話題性のある競技等を現在貯水池にもなっている駐車場部分に作るのもいいと思う。

事務局：駐車場の部分は貯水池という前提で、地形を活用してできるスポーツを配置するのも一つだと考えている。アーバンスポーツができる施設も近隣にできつつある。

委員：スケートボードをやる場所がないので、小さくてもしっかりと場所を設けてあげたほうが良いと思う。

固定された常設の施設ではなく、収益性や将来のスポーツを考えて、可動式の施設が良いのでないか。

床面はどのようにするのか。

事務局：特に決まっていない。テニスは一般的にオムニコートが主流になっている。多目的広場は、人口芝が良いと考えている。人口芝の長さはどのスポーツに合わせるか検討が必要である。

また、水が出る可能性のある地域なので貯水機能を確保するための検討が必要である。

委員：屋根はどのようなものなのか。屋根が付く場合、壁はつくのか。

委託業者：屋根は軽いテント生地を使うのが一般的で、薄いため照明費用も抑えることが出来る。

屋根を付ける場合、壁はなく、柱はあるが屋根だけになると想定される。

委員：熊谷ドームに使われている屋根と同じか。

委託業者：イメージは近い。

委員：多目的広場（フットサルコート）やテニスコートに屋根を設けるのであれば高さは必要になると考える。多目的広場の部分に屋根を設ければ、幼稚園・保育園の運動会等で有効に利用することができる。どこまで屋根で覆うのか。

多種目・多目的の観点でいくとテニスコートを利用して同じネット種目のバレーボール等もできると多種目でも利用が可能だと思う。可動式バスケットゴールがあればフットサルコートを利用して3面分のバスケットコートを作れるのではないか。

駐車場部分をアーバンスポーツ施設とするのは、地形も有効活用しているので良いと思う。

事務局：屋根の必要性についてどうか。

委員：必要である。屋根があるないでは稼働率が全然違うと思う。

事務局：イメージとしては多目的広場とテニスコートは屋根で覆いたいと考えている。建設コストや稼働率、収益性を踏まえ、どこまで覆うかは検討をしていく。

アーバンスポーツの利用料金をとるのか否かについては検討が必要である。

委員：若い方から高齢者までが見ていて楽しい空間を作ってあげると交流の場が生まれるし、アーバンスポーツの印象も変わるのではないか。

委員：様々なアーバンスポーツが、同時に利用すると事故が起きる可能性があると思う。時間を区切る等のプログラムを作るべきなのではないか。

委員：駐車場の低い部分をさらに低くするなどの工夫をするとより有効にスペースを使えるのではないか。

事務局：砂川堀を所管している埼玉県から様々な制限も設けられている。

駐車台数がどのくらい必要なのかも検討している。例えば平日で駐車台数が少ない時は3 on 3で使用し、土日は駐車場として使う等の色々な活用方法を検討している。

委員：スケートボード関連のトラブルを市民総合体育館の前で目にしているので、専用エリアがあると良いと思う。

委員：シニア世代の方が来て、若い世代がスポーツをしているのを見て交流できる場があるといい。

スケートボードをやる場所がなく市民総合体育館前や公園でやったりしているが、専用エリアができれば、ルールを守って利用してくれると思う。愛着を持って利用してもらえる施設が出来るといい。

プロモーションの立場から外に発信するだけでなく、住んでいる人がいい場所があると感じ、富士見市に住み続けたいなるまちになるといいと思う。

事務局：対象地は周辺に家が多いわけではないが、夜間も利用できるようにすると一定程度音が発生するなどの騒音問題もあると考えている。

委員：開放時間はどのようにするのか。朝6時頃から夜9時くらいまで使えるようにするのか。稼働率や収益性、管理を踏まえながら検討が必要だと思う。

事務局：ナイター照明の向きによっては農作物に影響が出る可能性がある。

アーバンスポーツは入れたほうがいいか。

委員：時代的にもあったほうが良いと思う。

委員：アーバンスポーツも利用料を取るべきである。スポーツとして認めているのであれば差をつける必要はない。

管理棟という名前もクラブハウスに変えるべき。交流を促すような機能を持たせた場所にしたい。

事務局：クラブハウスは、受付や交流スペースを設けるイメージである。

多目的屋外スポーツ施設設置に関する市民懇談会ではレストランをいれてはどうかという話もあったが、レストランを入れるとリスクがある。例えば、エントランス広場にキッチンカーを誘致し、場所代を取って混んでいる時だけキッチンカーを配置すると収益等のリスクを減らせるし、交流も図れると思う。

委員：アーバンスポーツの試合ができる規模の施設も作ってはどうか。

委託業者：アーバンスポーツの需要の算定は難しく、競技人口の把握も非常に難しい。アーバンスポーツは収益目的ではなく、若者たちの場を増やすことを目的に作る人が多いと思う。

屋内で大会を行う際は1, 500平米程度で成り立つが、競技面を持たせた屋外

施設とするのであれば、2, 500~3, 000平米が必要になってくる。初心者
のことを考えると平らな部分もあった方が良い。

多くのパークでは様々なアーバンスポーツを同時に使用させている。動線の管理
や視線の抜けを意識して設計すれば安全性は確保できると考えている。

セクションの種類はコンクリートの物もあるが、移動式のベニヤ板を使用した物
もある。セクションの種類によって制限を設けることはある。

協会を立ち上げて、ルールづくりやスクール運営等を行っているところもある。

事務局：他に意見はあるか

委員：ウォーキングエリアの通路幅が広ければ自転車の練習をしている子どもの共存も
できるのではないかと。景色が良い桜並木を通るコース等もコース設定できるとい
いと思う。

事務局：施設の外側のウォーキングコースを設定することも検討している。

委員：ウォーキングはニーズがあると思う。

親子で一緒に遊べる場所が市内に少ないため、安全にボールを使える施設がある
と良い。

事務局：子どもが遊べる遊具の設置についてはどう思うか。

委員：公園という位置づけなのか。

事務局：広く言えばスポーツ公園である。

委員：ボール投げができる広い芝生エリアを設けるなどのキッズスペースを設けるのも
よいと思う。

委員：高齢者と親、子どもが過ごせる場所としてクラブハウスがあると良い。

事務局：子どもが遊ぶ場所として、屋根のある多目的の空間ではどうか。子ども連れが遊
べる時間帯を設けるのはどうか。

委員：おしゃれなクラブハウスは大事だと思う。

委員：フリーな時間を設けることは可能なのか。

事務局：運営の仕方にはよるが、フリーな時間を設けることは可能だと思う。

管理するためには人が必要になる。仮にフリーな時間を設けるならば利用率等を
踏まえながら利用時間を設定していく必要がある。

委員：子どもが遊べる噴水はどうか。

事務局：噴水は設備の維持管理にコストがかかり、また夏期限定になってしまう。

委員：富士見市内の地域によってはこの施設に来るのが大変な地域もあるため、将来的
には循環バス等の交通手段も検討して欲しい。モルック等の生涯スポーツを行え
るといいと思う。

事務局：平面の部分に多目的広場やテニスコートを配置し、その他部分にアーバンスポ
ーツ施設を配置していく。健康遊具は必要か。

委員：ウォーキングをする高齢者は健康遊具を使いたがると思う。

委員：制限等があるため、色々な施設、遊具を配置したいが、バランスが大事になると思う。

委員：ウォーキングエリアは無料なのか。

事務局：ウォーキングエリアは無料で良いと思うが、その他の施設は収益の面も考えて有料になると思う。

委員：最近整備したびん沼自然公園（パークゴルフ場）の反省点はあるのか。

事務局：大型遊具に関しては人気である。パークゴルフは夏期の暑さで利用が減ったとは聞いているが、一年間通しての利用がどれだけあるかを見ない事には、評価はできないと思う。

委員：びん沼自然公園の管理施設の課題を整理して、本施設に活かしてほしい。

事務局：今回いただいた意見を踏まえ、検討していく。

4 その他

事務局：今後のスケジュールについて説明

5 閉会

以上